

シー・エス
C・Sみやいけ

E-mail:info@miyaike-e.ed.jp



卒業式まで、あと1週間！

6年生の皆さん、「6年間って早かったな」と感じているのではないのでしょうか？ここまで成長してきた「今の自分」はこれまでの積み重ねの自分であり、将来へつながっていく自分です。小学校生活を振り返り、新たな中学校生活への夢や希望を膨らませ、残りの時間を有意義に過ごしてほしいと思います。



6年生を送る会(3/2)



愛校作業(3/4)



ウォークラリー遠足(3/8)

第6回学校運営協議会(3月1日)

会の冒頭に、協議会の杉本貞三顧問と榊原安宏会長が、令和3年度半田市政功労者表彰を受けられたことに対して、出席者からお祝いの言葉や感謝の拍手が送られました。

続いて、本年度最後の学校運営協議会を開催し、令和3年度の活動報告と令和4年度の活動方針を話し合いました。榊原会長と笠井校長先生から、依然として続いている厳しい日々にあって、子どもたちを温かく見守り、様々なご支援・ご協力をいただいた皆様への感謝と、今後も子どもたちの安全・安心のために努力していきたいとのあいさつがありました。



活発な意見交換がされました

本号では、紙面の都合上、令和3年度の活動報告についてお知らせし、令和4年度の活動方針については、次号No22(3/14発行予定)でお知らせします。

令和3年度活動報告の主な内容は、以下のとおりです。

1 学校運営・教育活動

「コロナ禍の中、子どもたちには我慢を強いることが多々あったし、保護者の皆さんには学校に来ていただくことができず、家庭と学校の関係が希薄になりがちなこともあったと思う。……改めて、『face to face』の重要性を感じた……」(校長先生から)

そんな中でも、専門分野の方々による「防災」(V Cの会)、「福祉」(社会福祉協議会)、「命」(半田病院)についての学習や、タブレットを活用した学習(ギガスクール)は、貴重な学びの機会となった。高学年と低学年のペア活動も新たな交流のひろがりにつながった。



命の授業(半田病院のお医者さん)

2 学校運営協議会

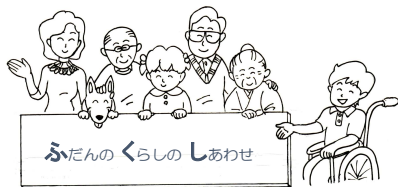
年間6回の計画の内3回が中止となり、熟議の時間の確保が不十分だった。児童会から提案された「消毒スタンド」を地域の方と応援団で6台製作し、校内に4台設置し、マーキュリールームと宮池会館に各1台ずつ寄贈した。

3 なんでも相談室(半田市社会福祉協議会)

電話やLINE相談に対しては、関係機関と連携しながら進めてきた。10月からは、日福大生、成岩中の先生方、スクールソーシャルワーカーの皆さんにもご協力いただき、校内フリースペースでの相談室を開催した。

また、半田市教頭会議で、宮池小での取組を事例発表させていただいた。宮池小での取組が市内の学校に広がることを期待したい。

2022/02/25 半田市教頭会研修会
コミュニティスクールと福祉の連携



社会福祉法人半田市社会福祉協議会
事務局次長 前山 恵一

4 ママたちのおしゃべり会

当初の計画どおりには開催できなかったが、開催できた会での、参加いただいた方たちの語り合い、交流は有意義だったと思う。12月の会では、児童会から提案のあったベルマークの整理にも取り組めた。

5 こども食堂「みやっ子サロン」

4月から全てテイクアウトによる実施となったが、コロナ第5波が落ち着いた11月と12月は、初めて「ふれあいタイム」を実施できた。今後も「ふれあい・会食タイム」を実施したい。食の支援は社会福祉協議会が担当する。

6 PTA

学校と家庭をつなぐPTAの役割として、情報の伝え方が大切だと感じた1年だった。共働き家庭が多く、保護者の環境を踏まえたPTA活動の在り方の見直し、改善等を検討していく必要がある。

7 応援団

4月の下校サポートから始まり、除草作業、側溝清掃など、たくさんの方に協力いただき、できる範囲での活動をしてきた。年度末の応援団会議は書面開催。新年度4月の下校サポートも行う。

